

作成日：平成25年5月15日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、「3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	最近、庭やリビングで転倒して骨折した入居者がおり、今後同様の事故が起こらないよう改善することが緊急課題である。	新たに手すりを取り付けたり、支えとなる台などを置くことによって、ホーム内で広い歩きできる場所を増やし、入居者の転倒を防止する。	① 庭の入居者様がよく通る場所と、室内のリビング・廊下や居室内(特に歩行不安定な入居者の居室)の廻まるものがない場所をピックアップする。 ② ピックアップした部分に、手すりを取り付けたり支えとなる台を置く。 ③ 近隣住民に参加してもらえらる形の避難訓練計画を立てる。 ④ 近隣住民に、災害時に協力をお願いしたいことなどを再度説明し、避難訓練に参加していただけるようお願いし、理解を得る。 ⑤ 避難訓練を実施する。	3ヶ月
2	35	災害時の地域との協力体制について、以前に隣家住民に訓練に参加してもらった事があるが、最近2年ほどは行えていない。	ホームで行っている避難訓練の際に、近隣住民に参加してもらう。	① グループホーム利用者は、医療保険を利用し、個人契約で訪問看護を利用することができると、点滴や簡便など、必要な状況が生じた際は、医師の指示を仰いで訪問看護を利用してもらうようにする。	3ヶ月 (必要な状況が生じた際、速やかに)
3	33	利用者の重度化・終末期に対応したケアについて、ホームに看護師がいないため、医療行為ができません、対応できるケアに限界がある。	必要に応じて訪問看護に入ってもらおうようにする。	① 入居者個々の入浴の希望(時間や頻度)の聞き取りを行う。 ② 聞き取りの結果をもとに、できる限り個々の希望に沿った支援を行えるよう、体制を整える。	3ヶ月
4	45	利用者の入浴は基本的に3日に1回と固定されている面があり、柔軟性が足りない面がある。	例えば毎日入浴したい入居者には希望に沿った対応をするなど、個々に沿った支援ができるようにする。	① 休憩時間の取り方、休憩の時間帯について、以前に決めた物を職員間で見直し、新たに作り直す。 ② 休憩時間の取り方についての新たな取り決めを職員全員に周知し、しっかりと休憩が取れるよう、職場全体で取り組む。	3ヶ月
5	12	職員の休憩時間を取りづらい現状がある。	休憩時間の取り方について、もう一度職員全体で確認をし、しっかりと休憩を取れるようにする。		3ヶ月

(注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。